

# 常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。各常任委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

## 総務委員会

- \*業務改善制度について、民間企業で行われているQCサークル活動等を参考にして進めること。
- \*公衆無線LAN事業の推進について、訪日外国人旅行者数の増加等も見据え、優先エリアの設定など、計画的に整備を進めること。
- \*防災情報伝達システム構築事業について、情報伝達手段の多重化など、緊急情報が市民に確実に伝わるシステムの構築に取り組むこと。
- \*津波避難タワーの整備について、周囲の景観に配慮するとともに、いまだ避難が困難とされる33地区における津波避難ビルの指定なども併せて実施し、避難困難の解消に努めること。
- \*第3次総合計画の推進に当たっては、市民ニーズや国の動向等を的確にとらえて柔軟に政策へ反映させるなど、さらなる推進に向けて努力すること。
- \*人口減少対策のため、本市の魅力や優位性を大いにアピールし、一人でも多くの移住につながるよう、積極的に移住支援業務を進めること。
- \*納税意識の高揚に向け、租税教育の充実に加え、社会人の税への理解を促すための制度を知る機会の拡大を検討するなど、引き続き、**税務広報**に努めること。
- \***静岡市税条例の一部改正**の内容が納税者に伝わるよう、医療費控除などの改正点の周知・広報に努めること。

## 観光文化経済委員会

- \*企業誘致及び企業立地は、雇用創出や人口維持に結びつく効果が大きいので、市役所一丸となり**企業立地用地の確保**を進めること。
- \*地場産業の後継者を育成し新規就業者の育成を図る**クラフトマンサポート事業**の効果を高めるためには、地域に利益をもたらす持続可能な仕組みが必要であるため、業界との情報共有や連携を強化し、確実にこれを推進すること。
- \***オクスズ**には、神楽などの伝統芸能を始め、地域固有の在来作物など地域の誇りとなる魅力的なコンテンツがあるので、それらを十分に活用し、積極的に情報発信すること。また、それにより、地域の文化的かつ経済的な振興を図り、移住の促進、集落の維持存続へとつなげること。
- \***MICE誘致**については、東京オリンピック・パラリンピックホストタウンなど、様々な分野での積極的な情報収集や誘致活動に取り組むこと。
- \*外国人観光客の宿泊を促す方策として、日本夜景遺産に登録された日本平や初夏のホタル観賞、日本平動物園のナイトZOOなど**夜の観光ルート**を検討すること。
- \***三保松原**は、引き続き松枯れ防除に取り組み、被害木の伐倒駆除本数の削減に努めること。また、ボードウォークについては、地元や県とともにルートや規模、構造についての協議を重ね、早期に整備すること。
- \***駿府城天守台の発掘事業**は、重要な観光資産であるため、集客のための様々な仕掛けを工夫し、歴史文化都市への気運を盛り上げること。

## 企業消防委員会

- \***災害時における機能**として、上下水道局の新庁舎の建設により、ハード面強化ができたので、今後は、市民への情報提供等のソフト面の充実を求める。
- \***上下水道の設備**について、現在、南海トラフ巨大地震に備え使用している管の強度などのデータを後世の見直しの参考になるよう残すこと。
- \***カラーガード隊の導入**により消防団活動のPRや団員の増員が期待できるので、活動内容をしっかりと検討し、成果を市民に報告すること。また、小学校や自治会の運動会での消防団活動の披露などをとおし**団員の更なる確保**に努めること。

## 市民環境教育委員会

- \*市民との協働事業を進める中で、葵区及び清水区に続き、駿河区への**市民活動センターの設置**について検討すること。
- \***市民相談**にあたっては、相談者の実態や傾向をつかみ、各区の生活支援課等と連携すること。
- \***生涯学習交流館**は、指定管理者による運営であっても、市民サービスを落とすことのないようにすること。
- \***家庭ごみの減量及び資源化**のため、市民に対して分別の徹底を働きかけ、さらなるごみの減量及び資源化についての市民理解の醸成に努めること。
- \***小中一貫教育**について、教員の負担軽減につながるカリキュラムを作成するとともに、施策の目的を保護者や地域に対し丁寧に周知していくこと。
- \*児童生徒を取り巻く環境の変化により生ずる子どもの貧困や健康など課題の解決に向けて、**スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、教育相談員の増強や効率的な配置**に取り組むこと。
- \***住居表示区域**の追加について、自治会と地元の意見を十分に取り入れ、住民が納得できるように住居表示を実施すること。

## 都市建設委員会

- \***江川町交差点**では、歩行者の東西方向の平面横断が実現したが、周辺道路の渋滞対策等の課題の解消も含め、完全平面横断に向けた検討を行うこと。
- \***バス路線の維持**は、中山間地等に住む高齢者等、いわゆる交通弱者にとって非常に重要であるので、採算性などの課題もあるが、地域住民の声も参考に、事業を推進すること。
- \***大浜公園プール**は、子どもや家族連れなどが多く利用しているので、洋式トイレへの改修を含めた老朽化対策及び駐車対策を行うこと。
- \***電線等の地中化**は、多額の経費を要するものではあるが、緊急輸送路確保といった防災対策、景観向上といった観光振興の観点からも大変意味のある事業であるので整備に努めること。
- \***河川の氾濫**を防止するため、県管理河川であっても、堆積土の除去を市が行えるよう検討すること。
- \*各種事業に関連して、過去と比較して、繰越額が多くなっている傾向があるので、**繰越額の縮減**に向けて努力すること。さらに、様々な問題により工事が遅れる場合は、完成を待っている方々に向けて、早期の情報提供を行うこと。

## 厚生委員会

- \***介護ロボット等導入支援特別事業費助成**について、介護ロボットは労働環境の改善などさまざまな可能性がある一方で、課題もあるので、介護現場の声を十分に聞いて事業展開をすること。
- \*医療、介護、予防、生活支援のサービスが一体的に提供される**静岡型地域包括ケアシステム**を構築するに当たっては、静岡市の特徴を生かし、幅広い視点で施策を展開すること。
- \*元気な高齢者が健やかに自宅で過ごせるような施策を進めるとともに、中山間地域では特に高齢化が著しいので、**地域のニーズにあわせた福祉施策**に取り組むこと。
- \*保育ニーズは今後も増大すると思われるので、民間事業者や地域社会と連携して**待機児童ゼロ**を目指すこと。
- \***放課後児童クラブ**について、各学校や教育委員会とも協力して学校施設を有効活用し、環境整備に努めること。また、待機児童解消と開設時間延長等を確実に進めること。
- \***母子家庭の支援や子供の貧困、虐待への対応**などについて、支援を求めている人たちに寄り添ったきめ細かな対応に努めること。

## 第11回全国市議会議長会研究フォーラムが開催されました。

平成28年10月19日(水)、20日(木)の2日間にわたって、全国市議会議長会研究フォーラムin静岡が開催されました。全国から、約2,500名の市議会議員が集い、「議会における監視権」についての研究が行われました。

フォーラムでは、東京大学名誉教授の大森彌氏による基調講演「二元代表制と議会の監視機能」、パネルディスカッション「監視権の活用による議会改革」、課題討議「監視権をいかに行使すべきか」などが行われました。パネルディスカッションでは、パネリストとして登壇した栗田裕之議長が本市議会の取組を全国に向けて紹介しました。



## 陳情審査結果

提出された陳情	介護保険制度における軽度者への福祉用具貸与・住宅改修継続に関する意見書の提出を求める陳情	採択
---------	--	----